

令和5年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	非化石化を推進する省エネアスファルトプラント(GXアスファルトプラント 気体化石燃料×非化石燃料)
型番	TAP-○○■S+TRD-△△DS-◇◇+ST-×××+▼▼S (○○はVドライヤ、■はミキサ、△△はRドライヤの能力、×××と▼▼にはサイロ容量を示す数値、◇◇はRドライヤの設置方式を示す)
会社名	田中铁工株式会社
本社所在地	佐賀県三養基郡基山町小倉629番地7
会社WEBページURL	https://www.tanaka-iron-works.com/
製品紹介ページURL	https://www.tanaka-iron-works.com/product/

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	田中铁工株式会社 GX推進室 神谷 代表TEL：0942-92-3121 Email：i-kamiya@tanaka-iron-works.com
-----	---

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	D. 建設業	E. 製造業	
導入対象となる分野・プロセス	アスファルト合材の製造		
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）	20.1	kl/年	
工場・事業場当たりの想定省エネ率	3.9	%	
設備・システム当たりの想定省エネ率	—	%	
導入事例における費用対効果（年間）	0.3	kl/千万円	
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	610,000,000	円	
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	7,500,000	円/年	

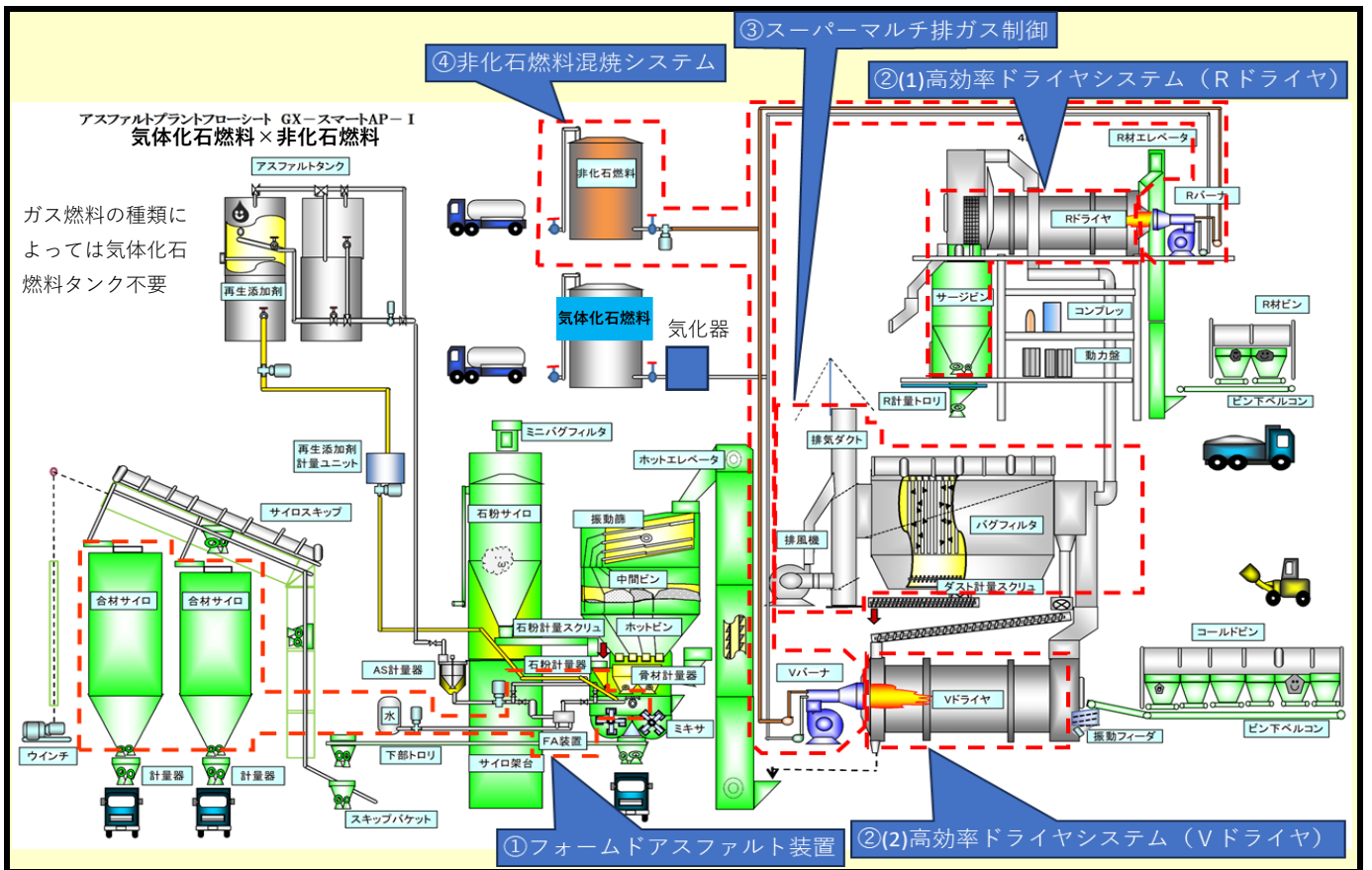
製品・システムの概要

<p>アスファルト合材工場におけるエネルギー消費の約90%を占めるアスファルトプラントにおいてエネルギー消費が大きい骨材の乾燥・加熱に関わるプロセス（製造過程）に、先進技術を組み合わせ、省エネ化を推進。 つまり、主要な装置に高効率・省エネルギー機器とそれらを制御する新たな技術を用いて、省エネ化を進める。 さらに、気体化石燃料と非化石燃料の混焼を行うことで、持続可能な省エネ+非化石燃料への転換を図る。 工場全体として”省エネ率+非化石割合増加率=35%以上”を実現する。</p> <p>導入形態： 既存の設備・プロセスの一部、あるいは設備全体の更新により省エネ化を図る</p>



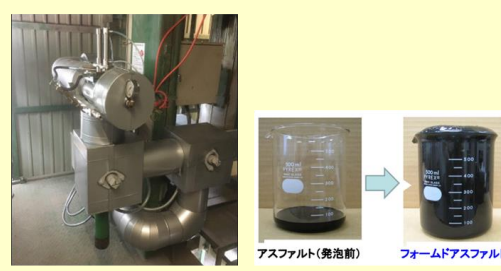


先進性についての説明

<p>主要な装置に高効率・省エネルギー機器とそれらを制御する新たな技術を用いて省エネ化を進め、化石燃料と非化石燃料の混焼を行うことで、持続可能な省エネ+非化石燃料への転換を図る。</p> <p>①アスファルト合材の製造温度を低減「フォームドアスファルト装置」 ②骨材の乾燥・加熱を高効率化「プロセスを改善した高効率ドライヤシステム」 ③ドライヤ効率を最適な状態に保つ自動制御方法「スーパーマルチ排ガス制御」 ④非化石燃料への大幅な燃料転換「非化石燃料混焼システム(気体化石燃料×非化石燃料)」</p>
--

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	アスファルト合材工場	対象設備・プロセス	アスファルト合材の製造
<h1 data-bbox="143 1249 550 1310">GX Smart AP</h1>			
 <p data-bbox="247 1624 550 1657">アスファルトプラント前景</p>		 <p data-bbox="917 1624 1220 1657">アスファルトプラント後景</p>	
 <p data-bbox="311 1960 502 1993">フォームド装置</p> <p data-bbox="231 1993 582 2027">低炭素アスファルト合材生産可能</p>		 <p data-bbox="726 1960 1013 2004">非化石燃料混焼バーナ (気体化石燃料×非化石燃料)</p>	 <p data-bbox="1125 1960 1428 1993">非化石燃料(廃食油)タンク</p>
		<p data-bbox="917 2004 1284 2038">化石燃料から非化石燃料への転換</p>	